

## 令和５年度 第２回 川口市介護保険運営協議会第１部会 概要

### １ 開催日時

令和６年２月２日（金） 午前１０時から午前１０時３５分

### ２ 開催場所

市役所 第一本庁舎８階 第３委員会室

### ３ 部会委員

部会長 長谷 達也委員

委員 吉田 英司委員、山本 明美委員、高木 輝久委員、吉田 夢花委員、  
長谷部 正子委員、町田 君子委員

### ４ 会議の概要

#### （１）介護職員の必要数推計について

厚生労働省が作成したツールを用いた、今後必要と見込まれる介護職員数の推計数について報告された。

#### （２）介護保険施設等の整備目標について

計画期間中における、主に地域密着型サービスの整備目標について報告された。

#### （３）サービス別利用者数及び利用量並びに給付費等の見込みについて

サービス利用者数などについて、各年の増加を見込み、令和６年度の報酬改定や地域区分見直しも反映した、計画期間の給付費見込みについて報告された。

#### （４）第１号被保険者の保険料について

国の定める基準変更を加味し、給付費の財源として必要な保険料総額を第１号被保険者見込人数で割った第９期の保険料額（現段階案）が示された。

上記議題に係る、各委員からの意見の概要については以下のとおり。

- ・介護職員の人材不足に関連し、若い世代の退職を防ぐための取組を求める。
- ・高齢世代を介護人材として確保するための取組について。
- ・地域区分について、今回５級地に上がり、介護職員の給料が上がるという意味で大変喜ばしいことである。一方で自治体間の格差は未だ残り、給料の良い自治体に人材が流れてしまうことが依然として続いていることから、地域区分の格差是正に係る要望の継続を求める。
- ・地域区分が上がることは施設経営的には喜ばしいが、利用者負担も増えるという側面もある。報酬単価が高いユニット型施設の中には、利用者負担増を考慮し、質の向上のための報酬加算を取らずに稼働率を優先させたり、市内でなく他自治体からの入所者を優先したりする施設もあると聞いている。また、支払が困難になり、ユニット型から多床室への移転を待っている利用者がある現状もある。
- ・保険料について、増額を抑えるよう市で調整した結果なのかについての確認。
- ・第１０期以降の保険料算定の見通しについて。
- ・保険料算定方法の自治体間の違いについて。